

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (D O)	事務事業名	No. 721201	矢作川流域事業				主管課名	企画政策課				
	この事務事業 の位置	政策	市民と行政の協働による自立した自治体経営				課長名	柴田圭一				
		施策	市民サービスを高める行政運営の推進									
		基本事業	行政サービスの連携									
	(1)事業の概要											
	愛知県と矢作川流域の10市町で構成する（公財）矢作川水源基金において、植林など山の管理や河川の上下流の地域間交流などを進めることにより、きれいで安定した水を供給できる緑豊かな災害に強いまちづくりを行っている。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
	構成団体 愛知県、岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町						名 称		単 位			
							（公財）矢作川水源基金負担金支出額		千円			
							（公財）矢作川水源基金協議会開催数		回			
							その指標					
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		(公財)矢作川水源基金において、水源地体験事業や地域交流事業などを実施し、事業費の1/3を構成市町の人口割で負担する割合に応じて負担金の支出を行った。										
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	豊田みよし広域行政事務負担事務を統合し広域行政事務負担事務とする。									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
(公財)矢作川水源基金構成団体						名 称		単 位				
						構成団体数		団体				
						その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
矢作川の上下流域の地域間交流を進める。						名 称		単 位				
						事業数		事業				
						交流事業参加者数		人				
						その指標						
						(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)
圏域内の共通課題の取り組みや効率的な行政サービスを推進し、快適な住環境の整備を図る。						名 称		単 位				
						行政サービスの連携数		事業				
						暮らしやすいと感じる市民の割合		%				
						その指標						
						(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標						
指標	年度	単 位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の 活動指標		千円	507	510	514	514	514	514				
		回	2	2	2	2	2	2				
(6)の 対象指標		団体	13	10	10	10	10	10				
(7)の 成果指標		事業	1	0	1	1	1	0				
		人	29	0	30	30	30	0				
(8)の結果の 成果指標		事業	7	7	7	7	7	7				
		%	88.5	89.3	90	90	90	90				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	02
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単 位	507	510	529	529	529	529				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	507	510	529	529	529	529				
人件費B		千円	738	752	339	339	339	339				
正職員従事時間×人数		時間×人	100×2	100×2	45×2	45×2	45×2	45×2				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用C		千円										
トータルコストA+B+C		千円	1,245	1,262	868	868	868	868				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/ 団体	96	126	87	87	87	87				
		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 721201 矢作川流域事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和53年2月 から	特になし
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
公益財団法人矢作川水源基金の設立に伴い、同基金の構成団体として加入したこと。		
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？		
変化していない	変化している	変化した内容

3 評価(SEE)	目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令		
			自治事務	→	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する		
					根拠法令	なし	
					この事務を行う根拠又は理由	矢作川水系における上下流の地域間交流を進めるため	
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由		
			結びつかない	→			
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容		
			できない	→			
			拡大	→			
			縮小	→			
(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容				
	できない	→					
	追加	→					
	拡充	→					
	絞込み	→					
(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容				
	多少影響がある	→					
	影響はない	→					
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容		(公財)矢作川水源基金で事業を実施しており、市の裁量の範囲外である。		
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できない	→					
(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名	ある	内容		
	ない	→				類似事業との再編の可能性	ない
	庁内事業	→					
	庁外事業	→					
(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容				
	ない	→					
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容				
	ない	→					
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容				
	ない	→					
	現状で適正	→					
	検討が必要	→					
	受益者がいない	→					

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						